

水稲用初・中期一発処理除草剤

ゼータタイガー[®]

300FG

ドローンでの散布に適した新規製剤



雑草、一撃。

プロピリスルフロン
プロモブチド
ベントキサゾン

3成分



- ◆ 3成分の一発処理除草剤
- ◆ 高葉齢のノビエ(3葉期)を始めSU抵抗性雑草に優れた効果
- ◆ 多年生難防除雑草クログワイに高い効果

水稲用初・中期一発処理除草剤

有効成分
 プロピリスルフロン…3.0%
 プロモブチド…30.0%
 ペントキサゾン…6.67%

ゼータタイガー[®] 300FG



- ◆ 3成分の一発処理除草剤（プロピリスルフロン、ペントキサゾン、プロモブチド）
- ◆ 高葉齢のノビエ（3葉期）を始めSU抵抗性雑草に優れた効果
- ◆ 多年生難防除雑草クログワイに高い効果

適用と使用方法

2019年8月現在の登録内容

主要雑草に対する使用適期

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	300g /10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機による 散布
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ウリカワ	3葉期まで (直播水稲は2葉期まで)
ホタルイ ヘラオモダカ	3葉期まで
ミズガヤツリ	4葉期まで (直播水稲は3葉期まで)
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	2回以内	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	2回以内	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	2回以内
----------------------	------	-------------------	------	--------------------	------

ドローンによる散布例

AGRAS MG-1(DJI)もしくはMG-1K(クボタ)の推奨設定								
薬剤名	飛行速度 (km/時間)	散布間隔	吐出量 (g/秒)	開度設定	インペラ回転数 (rpm)	圃場面積	散布時間	散布距離 (m)
ゼータタイガー 300FG	10	15m (片側7.5m)	13.2	35	300	10a	23秒	64
						20a	46秒	128
						30a	69秒(1分9秒)	192
						50a	114秒(1分54秒)	317
						80a	183秒(3分3秒)	509
						1ha	229秒(3分49秒)	637

AGRAS MG-1およびMG-1Kで使用の際は左記設定で散布してください。速度・開度・インペラ回転数を推奨設定表の数値以外に変更すると薬剤のドリフトにより周辺作物に被害等の被害を与えるおそれがあり、また薬効不足や薬害を引き起こす原因につながります。また、AGRAS MG-1およびMG-1K以外の機体にはこの推奨設定表は使用できません。

上手な使い方

<p>均平化作業・植付けはていねいに!</p> <p>田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不発・薬害の原因になることがあります。</p>	<p>移植深度は適正に!</p> <p>極端な浅植では根が露出し薬害原因となります。根元が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。</p>	<p>散布時の注意!</p> <p>散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深5~6cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。</p>	<p>散布後の注意!</p> <p>散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。</p>
--	---	---	--

使用上の注意事項

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するように注意してください。
- 藻類または表層はく離の発生しやすい水田では、有効な剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植え付けが均一になるように整地、代かきはていねいに、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて5~6cmの湛水状態に保ってください。処理後、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では孤散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足の可能性があるので使用をさけてください。
- 稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 以下のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水の水田(減水深が2cm・日以上)
 - ② 軟弱な苗を移植した水田 ③ 極端な浅植の水田
- 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合がありますので使用をさけてください。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の湛水に用いないでください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 濡れた手で触らないでください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- (散布時の注意)**
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため、圃場の端から7.5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。
 - 周辺環境への農薬飛散を低減するため、以下の点に留意してください。
 - ① 風向きを考慮して飛行経路を設定してください。
 - ② 空中散布の実施は、気流の安定した時間帯に、かつ、地上1.5mにおける風速が3m/s以下の場合に行ってください。
 - ③ 飛行高度は作物上2m以下の範囲で行ってください。
 - ④ 他作物や有機農産物の生産圃場および散布対象以外の作物等に被害が及ぶおそれのあるところでは散布しないでください。
 - 散布対象以外の作物やハウスに向けて飛行させないでください。
 - 飛行する農地周辺に接近する可能性のある人や車両へのドローンの衝突リスクを回避するため、飛行区域の外側に干渉区域を設定してください。
 - 「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」の留意すべき事項を遵守せず散布した場合、散布薬剤の飛散によって他の作物に薬害を与えるおそれがあるので、十分注意してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

01R8H19Z37:ZS

2019年8月作成 (全企企画社)

大地のめぐみ、まっすぐへ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 ☎ 0570-058-669

農業支援サイト <https://www.i-nouryoku.com>

